

滑川町議会議員候補者選挙公報

滑川町選挙管理委員会



かなやま

金山たけし

学歴
國學院大學 大学院博士課程前期 経済学研究科 修士

地域活動
埼玉県防犯サポーター、防犯協会ボランティア活動・通学ボランティア

政見
高齢化が進む中、外出が難しい高齢者を支えるため、乗合タクシーやデマンド交通、買い物支援などの移動支援を充実させます。

民生委員・自治会・医療介護との連携を強め、一人暮らし高齢者を「顔の見える関係」で見守る体制を整えます。子どもと共働き家庭のためには、学童保育の定員拡大や施設整備、指導員の確保と処遇改善を進め、安心して子どもを預けられる環境をつくります。

さらに、延長保育や長期休暇中の支援を充実させ、働く家庭の実情に合った柔軟な運営を実現します。防災面では、地域の危険箇所を点検し、河川・道路・土砂災害への対策を強化します。避難所には電源確保や備蓄品の充実、配慮が必要な方のスペースを整備し、

災害時にも安心できる体制を整えます。

誰もが困ったときに相談でき、高齢者も子どもも災害弱者も取り残されない、支え合いが自然に生まれる町を目指します。



しとう明

私が滑川町議会議員に立候補し、取り組みたい事を二つお伝えします

一、小学校のプールを夏休みでも使えるように

昔は夏休みも学校のプールを利用することができました。もちろん、現在は安全面や管理、人員など、さまざまな制約があることも理解しています。

それでも子供達の『プールに入りたいね』という言葉を、実現につなげたい。

夏休みのプール利用を実現するために、課題と向き合い、具体的な方法を考え、行動していきます。

二、通学バスを町全体で、もっと柔軟に

遠距離の子供をバスで通学させる取り組みは、とても良い政策だと思います。

だからこぞ、今ある仕組みをさらに柔軟にし、月の輪地区から福田地区へ通学したい子供達も利用できる仕組みを作りたいと考えています。

『どこの地区に住んでいても福田小学校へ通える』という選択肢を町が始めたのであれば、それを支える通学手段も調べていくべきだと考えます。

私も小学生の子供を持つ親として、子育て世代や地域みなさんの声を町政へと届けられる場所へもう一度立って、『子育てしやすい町』とは何なのか。

みなさんの声を大切にし、さまざまな提案と一緒に考え、ひとつひとつ実現していきます。

次世代にツケを回さない



税金の使い道を町民にきちんと説明する町政へ



コミュニティセンターの建設計画にいったん待った！をかけます

十分な検討と町民への丁寧な説明のないままに進む計画に向き合います



議会映像ライブ配信を求めます

議会を見える化し、町民がいつでもチェックできる環境を求めています



議論を活発にします

多様な意見を受け止め、町民と一緒に良い政策を考えます



民間企業の経験を活かします

企業で培った「説明責任」「財政管理」「危機管理の視点」を町政に活かします

●プロフィール
1960年 埼玉県和光市に生まれる 日本大学法学部卒業
ホンダ開発(株)/総務部長・取締役及び監査役を歴任
ホンダ開発労働組合委員長を経験
2005年 和光市より滑川町羽尾に転居 2021年 退職

●地域活動
和光市時代は和光市立第五小学校PTA改革委員
滑川町では補助員・商家櫛ヶ谷戸自主防災会会長を経験
現在は家庭菜園と保存食作りの毎日



Instagram



official X



めしやま

まへはらなや

滑川町選挙管理委員会では、投票・開票状況等選挙に関するお知らせを町ホームページ内の「滑川町長選挙及び滑川町議会議員補欠選挙」に掲載しています。



町ホームページ



滑川町選挙管理委員会

9月6日(日)は投票日です

みんなそろって投票しましょう